



駅名が、縁起が良くおめでたいということで、人気の秘境駅です。駅のすぐ前には、天竜川が流れています。

かつては、駅の近くで砂利の採取が行われていました。現在も、砂利の積込作業に使用していた側線などが残されています。



②6 天竜峡(てんりゅうきょう)

飯田市

【開業】昭和2年 【R元 一日平均乗車人員】239人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/5440.html>



飯田線の主要駅の一つで、南信州の代表的な観光地「天龍峡」の最寄り駅です。特急「ワイドビュー伊那路」の停車駅でもあります。

現在の飯田線のトンネル左側に残る、かつての砂利積込場跡



ステンドグラスを使ったモダンな駅舎



左が飯田線の線路、右がかつて使われていた側線



ホームにある天竜ライン下りの人形



天竜川の舟下りは、「天竜ライン下り」と「天竜舟下り」の2つがあります。当駅近くには、「天竜ライン下り」の乗船場「天龍峡温泉港」や季節限定の「りんご足湯」があります。また、徒歩1時間程の遊歩道散策も楽しめます。さらに、千代—天竜峡間では2019年度に開通した天龍峡大橋をご覧ください。



始射橋から見る天竜ライン下りの舟



天龍峡遊歩道



龍角峯展望台からの風景